

広島市植物公園 見どころ案内

シュウメイギク

(キンポウゲ科)

名前に菊とついていますが、アネモネの仲間です。花びらのように見えるのはガクで、花びらはありません。

展示会のご案内

- ◇ 展示温室 (9/5~9/24)
薬用植物展
- ◇ 展示資料館 (9/5~10/8)
私の好きな花たちの写真展

タマスダレ (ヒガンバナ科)

南米原産の球根植物です。白いかわいらしい花を咲かせますが、有毒植物です。明治初期に観賞用として日本に導入されました。過去に山菜のノビルと間違えて食し、中毒になった例があります。

薬用植物展

薬用植物約200点を展示し、その効能を紹介しています。イカリソウとチョウセンアサガオの解説もあります。

グランマトフィルム

スクリプツム

(ラン科)

東南アジア原産。黄緑色の花が多数咲いており、さわやかな印象を与えるランです。すぐ近くには鳩の姿にそっくりな花を咲かせるハトランを展示しています。

サガリバナ(サガリバナ科)

花は夜に咲き、翌朝には落花します。夜間開園は終了しましたが、午前中の早い時間帯であれば高確率で落下前の花を見ることができます。自生する西表島では、早朝に水面に落ちた花を見るツアーも開催されています。

サルビアのなかまなど

サンフレッチェ広島を連想させる紫系の花を集めています。スロープ周辺の花壇はサンフレッチェ広島のエンブレムをイメージした花壇の植栽を行っています。

シロバナマンジュシャゲ

(ヒガンバナ科)

白色のヒガンバナです。コヒガンバナとショウキズイセンの雑種と言われています。ヒガンバナより一足早く花が咲いています。来週にはヒガンバナが見頃になりそうです。

イズモアザミ (キク科)

中国地方西部の固有種。ビッチュウアザミとしていたものを花の特徴をもとに独立種として認めたものです。

ハギ各種 (マメ科)

ハギは秋の七草のひとつです。ハギの仲間は種類が多く、ハギ園にもいろいろなハギが植栽されています。

クランベリー (ツツジ科)

ツルコケモモのなかまです。サクランボに似たかわいい実が鈴なりについています。酸味が強いので生食には向かず、ジャムやソースなどに加工されます。

コヒガンバナ (ヒガンバナ科)

中国原産。種ができる2倍体のヒガンバナです。普通のヒガンバナは3倍体のため、種はできません。ヒガンバナより一足早く開花しています。

